

# 平成20年度事業並びに会務報告

(平成21年3月19日通常総会提出)

社団法人化学工学会

〔1〕 総会・会員大会

〔2〕 理事会

〔3〕 理事会幹事会

〔4〕 本部事業

- A. 年会・秋季大会
- B. 名誉会員候補者
- C. 化学工学会賞
- D. センター、CT、委員会活動
- E. 特別事業
- F. 受託調査・研究事業
- G. 他学協会との共催・協賛行事

〔5〕 刊行物

〔6〕 会員数

〔7〕 支部関係

〔8〕 部会関係

# 平成20年度事業並びに会務報告

(平成21年3月19日通常総会提出)

社団法人化学工学会

## [1] 総会・会員大会

- (1) 通常総会 平成20年3月18日 静岡大学
- (2) 会員大会 平成20年3月18日 静岡大学

## [2] 理事会

平成20年3・4・7・10・12月と平成21年2月に開催 (化学工学会会議室)

主要な承認項目

- ・特定費用準備資金の整備
- ・ECOMA2008の開催
- ・75周年記念事業準備委員会の設置
- ・広告料金の改訂
- ・組織単位の表彰制度、国際功労賞の創設
- ・平成20年度名誉会員候補者案
- ・平成21年度役員候補者案
- ・海外会員制度の創設
- ・「産学人材育成パートナーシップ事業」の受託
- ・論文誌販売契約等の更新、投稿料金の改訂
- ・HPリニューアル化の実施
- ・平成20年度化学工学会賞受賞者
- ・平成20年度決算案/平成21年度予算案

## [3] 理事会幹事会

平成20年5・6・9・11月に開催 (化学工学会会議室)

## [4] 本部事業

### A. 年会・秋季大会

- (1) 第73年会 (3月17日～19日) 静岡大学 <参加者1,629名>
  - 研究発表・技術報告 794件
  - 先端化学産業技術プログラム 5テーマ 35件 (3月17日～18日)
  - 若手・中堅研究者・懇親会 (3月17日)
  - 特別講演 1件 (3月18日)
  - 懇親会 (3月18日)
  - 化学工学会賞受賞記念講演 17件 (3月18・19日)
- (2) 第40回秋季大会 (9月24日～26日) 東北大学 <参加者1,681名>
  - 展望・招待・依頼講演 56件
  - シンポジウム 867件
  - ポスターセッション 138件
  - 若手・中堅研究者懇親・講演会 (9月24日)
  - 受賞論文賞講演 6件 (9月25日)
  - 特別講演 1件 (9月25日)
  - 懇親会 (9月25日)

### B. 名誉会員候補者

伊藤 俊明氏、菅原 拓男氏、中川 保氏、松本 繁氏

## C. 化学工学会賞

### [学会賞]

(池田亀三郎記念賞)

奥山 喜久夫氏 (広島大学) 「ナノ粒子材料の合成および機能化技術の新展開」

仲 勇治氏 (東京工業大学) 「統合化技術の開発とその応用に関する研究」

### [研究賞]

(玉置明善記念賞) 伊藤 直次氏 (宇都宮大学)

「気相充填層型メンブレンリアクターの設計と解析に関する研究」

(内藤雅喜記念賞) 前 一廣氏 (京都大学)

「新規マイクロリアクターの開発とそれを用いた反応制御法に関する研究」

(實吉雅郎記念賞) 松山 秀人氏 (神戸大学)

「多孔構造膜の微細構造制御に関する膜工学的研究」

### [研究奨励賞]

(玉置明善記念賞) 大島 達也氏 (宮崎大学)

「カリックスアレーン誘導体によるタンパク質表面認識を活用した抽出分離系の構築」

(内藤雅喜記念賞) 河原 正浩氏 (東京大学)

「受容体の工学的改変による細胞機能の制御技術の開発」

(實吉雅郎記念賞) 古山 通久氏 (九州大学)

「三次元多孔質シミュレータの開発と不規則性多孔体への応用」

(玉置明善記念賞) 松田 圭悟氏 (山形大学)

「リチウム二次電池電極材料の新規合成法の開発」

(内藤雅喜記念賞) 水本 博氏 (九州大学)

「長期機能維持を実現する新規オルガノイド培養法の開発と人工肝臓への応用」

### [技術賞] \*代表者

\*関 建司氏 (大阪ガスカル(株))、若松 孝彦氏 (大阪ガスエンジニアリング(株))

「吸着技術を用いたバイオガス有効利用システム開発」

\*田端 修氏 (フアティケミカル(マレーシア))、棚橋 真一郎氏、白沢 武氏、宇野 満氏、齋藤 明良氏 (花王(株))

「亜臨界水を応用した界面活性剤の合成プロセス」

\*若林 勝彦氏 ((独)産業技術総合研究所)、大里 雅昭氏、森 洋一氏 ((株)荏原製作所)、長田 秀夫氏 (佐世保高専)

岸田 昌浩氏 (九州大学) 「フッ素系地球温暖化ガスの分解処理装置の開発」

\*森 康彦氏、阿部川 弘明氏、関 航平氏、鈴木 哲也氏 (住友化学(株))

阿部 忠氏 (住友ケミカルエンジニアリング(株)) 「新規塩酸酸化プロセスの開発と工業化」

\*野崎 昭宏氏、塚原 千幸人氏、澤津橋 徹哉氏、土橋 晋作氏、龍原 潔氏 (三菱重工業(株))

「PCB 無害化処理を実現するオンライン分析システムの開発・実用化」

### [技術奨励賞]

島村 和彰氏 ((株)荏原製作所) 「難溶性リン酸塩の晶析現象を利用した下水からのリン回収プロセス」

高橋 孝徳氏 (綜研化学(株)) 「マイクロチャンネルを用いた電子ペーパー用2色微粒子の開発」

吉野 泰氏 ((株)リカカンパニイリミテド) 「シリカ系多孔質水素分離膜の開発とモジュール化」

### [学会活動功労賞]

命尾 晃利氏 ((株)特寿工作所) 「産業部門の活性化を通じた学会活動に対する貢献」

### [研究功労賞]

菅原 孝氏 (東京大学) 「高性能水素分離シリカ膜の研究開発に対する貢献」

## D. センター、CT、委員会活動

### 1. 地域CT

- ・「地域CTの役割」と「支部活動へのインセンティブ」を検討
- ・地域CT賞の制定 平成20年度地域CT賞を北海道、関東、九州の3支部に決定  
○開催委員会：地域CTと支部長の合同会議2回  
地域CT賞選考委員会1回

## 2. 部会 CT

- ・部会の抱える問題についての討論、部会の法人会計処理の変更について説明会と変更の実施
- ・存続期間（8年）が経過した部会の継続審査の方法の見直しと審査の実施
- ・化学工学会 HP のリニューアルに伴い部会 HP の更新と情報交換の実施
- ・NEDO のテーマ公募型事業説明会の第74年会（横浜国大）での開催企画

○開催委員会：部会長・部会CT合同会議2回（7月、12月）

○部会継続審査：バイオ部会（7月）、超臨界流体部会（11月）

○平成20年度の部会

051	バイオ部会	(東京大学) 長棟 輝行氏
052	超臨界流体部会	(静岡大学) 佐古 猛氏
053	エネルギー部会	(北海道大学) 林 潤一郎氏
054	安全部会	(東京工業大学) 仲 勇治氏
055	エレクトロニクス部会	(京都大学名誉教授) 荻野 文丸氏
056	粒子・流体プロセス部会	(東京農工大学名誉教授) 堀尾 正鞠氏
057	システム・情報・シミュレーション部会	(京都大学) 長谷部伸治氏
058	反応工学部会	(北海道大学) 増田 隆夫氏
059	環境部会	(東京工業大学) 竹下 健二氏
060	材料・界面部会	(東北大学) 今野 幹男氏
061	基礎物性部会	(金沢大学) 田村 和弘氏
062	分離プロセス部会	(名古屋大学) 入谷 英司氏
063	熱工学部会	(名古屋大学) 板谷 義紀氏

○平成20年度の研究会

0145 マイクロ化学プロセス研究会は反応部会の1分科会となった。

## 3. 産学官連携センター

- ・運営会議の開催：2回（6月、1月）
- ・インターシップ委員会の設置
- ・化学工学会インターンシップの実施
  - 企業登録：14社、学生応募：18名、実施：8社（18名）
  - 指導教員による企業視察と懇談の実施：5企業
  - 学生大会における制度の紹介：郡山大会、岡山大会（平成21年3月7日）
  - 第74年会における報告会・討論会：学生9名、企業8社（平成21年3月18日）
- ・第73年会時『先端化学産業技術プログラム』の開催
  - 日時：平成20年3月17日（月）11時～18日（火）13時
  - 場所：静岡大学 浜松キャンパス 参加者：約500名、交流会52名
- ・秋季大会時『企業トップから学生、院生へのメッセージ』講演会と討論会の開催
  - 日時：平成20年9月24日（水）16時～17時30分
  - 場所：東北大学 川内北キャンパス 参加者：約80名、交流会約90名
- ・下記5つの常置委員会にて幹事会、総会、技術交流会等を開催
  - 開発型企業の会 幹事会4回、技術交流会2回、見学会1回、
  - SCE・Net 総会1回、幹事会7回、研究会28回、技術懇談会7回、見学会1回、  
公開講座3科目45講座、大学講師派遣2名
  - グローバルテクノロジー委員会 ホームページの充実化、委員会5回、見学会1回
  - 経営システム研究委員会 委員会8回、講演会2回、第74年会で先端化学産業技術プログラム実施予定
  - インターンシップ委員会 委員会立上（6月）、委員会5回、第74年会で報告会実施予定

#### 4. 情報サービスセンター

- ・「化学工学」誌トップ記事をHPに全文掲載、和文誌電子投稿および電子査読の検討
- ・JSTの和文誌アーカイブ事業化に伴い、刊行済み27～29巻を自費で電子化することに決定
- ・和英両論文誌の電子ジャーナル化の実施（合本として年3回論文誌冊子体を発行）
- ・広告委員会の設置
- ・ホームページ委員会、HP改善WGの設置と本部ホームページのリニューアル版の作成

##### ○開催委員会

編集会議	4回	広告委員会	4回
化工誌 編集委員会	5回	ホームページ委員会	2回
小委員会	5回	HP改善WG	2回
論文誌委員会	2回		

#### 5. 人材育成センター

##### (1) 理科教育委員会

- 平成20年度学生発表会（平成20年3月1日）東地区：桐生市市民文化会館、西地区：関大  
発表225件（高校生4件含む）、参加者402名
- 第9回関東地区中高教諭とケミカルエンジニア交流のための見学講演会  
花王すみだ事業所で開催（東京都理科教育研究会との共催） 教諭54名参加

- 委員会 2回

##### (2) 高等教育委員会

- 教育奨励賞を新規制定 平成21年度より公募予定
- FDアンケートを実施
- 委員会 3回

##### (3) 教育審査委員会

- 平成20年度化学分野審査：本格審査実施、中間審査実施、継続審査実施  
大学院修士課程審査実施

##### (4) 継続教育委員会

- 「研究開発のためのモデリング技術」（3日、2回）、「反応器の設計」（2日、2回）、  
「プロセス基本設計」（3日間2回、2日間1回）、「プラント計装入門」（2日、2回）、  
「P&ID-考え方と作成法」（3日、2回）、「仕様書の書き方」（1日、2回）、  
「ケミカルエンジニアのためのデータ解析技術」（2日、1回）、「化学プラントの安全」（1日、1回）、  
住友化学出張（1日、1回）  
計9プログラム、16回、35日間実施（うち中国四国支部共催1回）

- 委員会 1回

##### (5) 経営ゼミナール委員会

- 第34回経営ゼミナール：8～11月に芦屋、東京、名古屋、つくば（各1泊2日）で月1回開催  
講師：茂木健一郎氏（脳科学者）、安部修仁氏（株吉野家ホールディングス社長）  
松本晃氏（ジョンソン&ジョンソン株最高顧問）他5名を招聘 受講者46名
- 過去数年の受講者対象とした、第2回特別講演会（6月2日）を実施
- 委員会 7回

##### (6) 資格制度運営委員会

- 上席化学工学技士試験、化学工学技士試験および化学工学修習士登録・審査を実施  
上席化学工学技士合格者31名、化学工学技士合格者15名、化学工学修習士登録者218名
- 委員会、分科会 11回

##### (7) 産学人材育成パートナーシップ事業（受託事業）

- 30プログラム作成。実証講座76日間実施（うち日本粉体工業技術協会10プログラム20日）
- 委員会 11回、打ち合わせ16回

## 6. 戦略企画センター

- ・運営会議の開催：3回（4月、7月、9月）
- ・75周年記念事業準備委員会の開催：2回（11月、2月）  
記念事業内容の検討
- ・シンクタンク委員会の開催：4回（3月、5月、11月、1月）  
化学連合への対応、Vision 2011の総括、Post Visionの作成方法の検討
- ・秋季大会時『企業トップから学生、院生へのメッセージ』講演会と討論会の開催  
産学官連携センターとの共催として実施  
日 時：平成20年9月24日（水）16時～17時30分

## 7. 国際交流委員会

### (1) 中国委員会

- 中国委員会 4回、中国懇話会 4回

### (2) 欧米担当

- AIChE Annual Meeting November 16-21, 2008 Philadelphia  
SCEJ Reception 11月18日（火）19:00～21:30 Marriot Philadelphia

### (3) 韓国委員会

- 第21回化学工学に関する日韓シンポジウム  
時期：平成20年12月6日～7日、 場所：佐賀大学

### (4) ASEAN委員会

- 第15回RSCEマレーシアで開催  
時期：平成20年12年2日～4日 Kuala Lumpur Universiti Kebangsaan Malaysia

### (5) 海外への情報発信

- 英語版ホームページの更新

## 8. リエゾン委員会

- ・化学工学会帰国留学生調査（国際交流委員会）への協力
- ・化学工学関連学科リンク先調査（ホームページ委員会）への協力  
○開催委員会 1回

## 9. 表彰委員会

- ・平成20年度化学工学会賞候補者の審査  
○開催委員会  
学会賞選考委員会 1回、 研究賞選考委員会 2回、 研究奨励賞選考委員会 2回  
技術賞選考委員会 2回、 技術奨励賞選考委員会 2回

## 10. 男女共同参画委員会

- ・第73年会にて、戦略企画センターとの合同企画「産学の架け橋と人材育成」を開催
- ・第40回秋季大会にて、ランチョン報告会を開催 参加者24名
- ・第6回女子学生のためのイブニングセミナーを開催 参加者26名
- ・女性からのメッセージ（No.41～No.49）をホームページに掲載  
○開催委員会 5回

## 11. 会員増強委員会

- ・「JST 支援の未公開特許技術発表会」を検討
- ・研究会参加非会員企業を地区会員へ勧誘  
○開催委員会 1回

## 12. センター連絡会議

- ・本部大会のスムーズな運営を支援するため大会引継ぎ委員会を設置  
大会引継ぎ委員会の開催：2回（5月、10月）
- ・本部大会の運営に関する内規の内、大会参加費の改定を実施
- ・本部大会の講演受付システムの取扱い内規の内、費用負担の改定を検討

## E. 特別事業

### 1. 夢・化学21 キャンペーン事業（16年目）

化学工学会を含む4団体主催、文部科学省、経済産業省

- ・「全国高校化学グランプリ2008」・・・（2,105名、入賞者80名）
- ・「夏休み子供化学実験ショー」・・・（日本科学未来館13,000名）
- ・「第40回国際化学オリンピック」・・・ハンガリー（ブダペスト）へ4名派遣

### 2. ECOMA2008（製造業環境・エネルギー対策展） 会場：東京ビッグサイト

（社）日本能率協会との共同主催

- ・ 展示期間：9月10日（水）～12日（金）
- ・ 展示規模：84社／150小間 入場者数：10,664名

## F. 受託調査・研究事業

### 1. 関東経済産業局

「産学人材育成パートナーシップ事業」

プロジェクトコーディネーター 伊藤 俊明氏

## G. 他学会との共催・協賛行事 229件

## [5] 刊行物

### 1. 会誌

(1) 「化学工学」誌72巻1号～12号、年間本文718ページ会告202ページ

年間発行部数113,395部(毎号平均9,450部)

特集記事： 1号 進化する化学プラント

2号 塗装のVOC削減への技術開発動向

3号 様々な領域における晶析技術

4号 プロセス強化の将来展望～地球環境課題（環境・エネルギー課題に立ち向かう～

<小特集>最新物性値：データベースと推算法

5号 スポーツの進歩を支える化学工学

—北京オリンピックに向けたスポーツ科学の技術開発動向—

6号 石油・天然ガス資源の探査・開発・生産に関する技術開発の動向

7号 機能化ナノ粒子の実用化の現状

8号 日本が誇る化学プロセス

9号 バイオ計測技術の最新動向

10号 化学工学年鑑2008

11号 ソノプロセス

12号 食品プロセスにおける最近の技術動向

(2) 「化学工学論文集」34巻1号～6号、毎号1,265部

34巻1号 204ページ報文 25件、ノート 4件、レビュー2件

2号 108ページ報文 16件、ノート 2件

3号 102ページ報文 12件、ノート 2件

4号 78ページ報文 9件、ノート 3件

5号 52 ページ報文 8件  
 6号 62 ページ報文 8件、ノート 2件  
 合計 606 ページ報文 78件、ノート 13件、レビュー2件

(3) “JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN”

41 卷 No.1～12号(2008)毎号1, 175部

Vol.40 No.1	50 ページ	Research Paper (RP) 6件、Short Communication (SC)1件
No.2	88 ページ	RP 12件、SC 0件
No.3	78 ページ	RP 8件、SC 3件
No.4	108 ページ	RP 9件、SC 5件
No.5	122 ページ	RP 14件、SC 2件
No.6	84 ページ	RP 10件、SC 2件
No.7	206 ページ	RP 33件、SC 1件
No.8	100 ページ	RP 9件、SC 3件、Journal Review(JR) 1件
No.9	102 ページ	RP 9件、SC 2件
No.10	72 ページ	RP 9件、SC 3件
No.11	72 ページ	RP 11件、SC 0件
No.12	81 ページ	RP 8件、SC 3件
合計	1,163 ページ	RP 119件、SC 24件、JR 1件

2. 不定期刊行物

○最近の化学工学59

「流動層技術の最近の進展」

(関東支部編)

○分離プロセス工学

(分離プロセス部会編)

○超臨界流体入門

(超臨界流体部会編)

○改訂3版—解説と演習—

(東海支部編)

○化学工学の進歩4 2 ミキシング技術の基礎と応用

(東海支部編)

○シンポジウムシリーズ No.80

「機能性微粒子の高機能化・新展開・新用途開発」

(高等教育委員会編)

[6] 会員数 (平成21年2月28日現在)

会員種別	正会員	学生会員	維持会員	特別会員	地区会員	教育・研究機関 特別購読	前会長 名誉会員	計	
平成20年 2月末 現在	6,854	1,546	115社 (134口)	259社 (259口)	180社 (181口)	77社 (75口)	93	9,124	
平成 20 年度 中 の	入会	323	826	1 (1)	15 (15)	8 (8)	4 (5)	0	1,177
	退会	718	522	3 (4)	18 (18)	8 (8)	4 (6)	5	1,278
	資格 変更	319	-326	-2 (-2)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	7	0
平成21年 2月末 現在	6,778	1,524	111社 (129口)	257社 (257口)	181社 (182口)	77社 (74口)	95	9,023	